

開館時間 (火)~(金) ▶ 9時~17時 ■ 問い合わせ
 (土)・(日) ▶ 9時~16時 多久市立図書館 ☎75-2233
 休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

「おすすめの新着本」

「その他おすすめの本」

植物あそび図鑑
 植物を使った遊びや
 工作の方法を紹介

植物あそび図鑑
 作・川原 勝征
 (南方新社)

子どもの頃に一度は経験したことのある植物を使った遊び。今の子どもたちはどうでしょうか? 作り方と遊び方をわかりやすく写真で紹介してあります。その数なんと約120種類。自然の中で遊ぶ楽しさを教えてくれる1冊です。

クモばんばとニュルの
 手作りのお店

**クモばんばとぎんの
 くつした**
 作・仁科 幸子 (偕成社)

なめくじのニュルは、いつもひとりぼっち。でも、クモのおばあさん「クモばんば」と出会ったことで毎日の生活が変わっていきます。森のみんなにいやがられていたぬるぬるもクモばんばのおかげでほこらしいものになりました。

若き遣唐使の視点から綴る
 航海と冒険の記録

**天平グレート・
 ジャーニー**
 作・上野 誠 (講談社)

4隻の船に400~500の人々が乗り込み海を渡った遣唐使。派遣回数は10数回。なかでも733年の遣唐使は、とりわけ数奇な運命に翻弄されたそうです。幾多の困難を乗り越えていく様を生き生きと描いた物語です。

子育て支援施設 催しのご案内

児童館 ☎75-6621
 いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆ **すこやかタイム**
 毎週土曜日 10時30分~、13時30分~
 10/5(土) 紙ヒコーキ作り
 10/12(土) おりがみあそび
 10/19(土) メルヘンタイム
 10/26(土) ハロウィン人形作り
 11/2(土) モビール作り

◆ **母と子のサロン**
 毎週火曜日 10時~12時
 内容 おしゃべり会
 (第1、3、4火曜日)
 ミニ講座、身体測定など
 (第2火曜日)
 10/8(火) 『ベビーアンドキッズヨガ』
 講師: 下村 由貴子さん
 (ベビーヨガインストラクター)

子育て支援センター
 ☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆ **子育てクラブ「わくわくランド」**
 日時 毎週木曜
 (祝日休み 10時~12時)
 場所 多久市児童館

◆ **園庭開放 (杉の子保育園内)**
 日時 月~土曜日 (祝日休み)
 9時~14時

◆ **子育て相談 (電話相談可)**
 日時 月~土曜日 (祝日休み)
 9時~17時

【10月の休館日】
 7日(月)、14日(月)
 21日(月)、28日(月)
 31日(木)
 ※31日は月末整理

【としょかんクイズ】
 本や物語についてのクイズを用意します。
 期間: 10/26(土)~11/9(土)
 場所: 市立図書館児童室
 対象: 小学生まで

- | 児童向き | 一般向き |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ 100本のバラ (原 ゆたか) (アイリック・ニユート) ◆ サイエンス・クエスト科学の冒険 (原 ゆたか) ◆ らくこで笑学校 (齊藤 洋) ◆ かいつソロリなぞのスパイと (末吉 暁子) ◆ ぞくぞく村の魔法少女カルメラ (末吉 暁子) ◆ 心をみがくことば論語 (八木 章好) | <ul style="list-style-type: none"> ◆ これならできる獣害対策 (村上 雅央) ◆ コンビニたそがれ堂空の童話 (村山 早紀) ◆ 君の夜を抱きしめる (花形 みつる) ◆ 鮎そのほか (阿川 弘之) ◆ 子どもと登るはじめての富士山 (関 良一) |

人権教育 No. 198

ともに生きる

マララ・デーのこと

今年七月十二日、マララ・ユスフザイさんの十六歳の誕生日でもあるその日、国連での彼女のスピーチが大きく報道されました。ここにその一部を紹介いたします。

「『マララ・デー』は私一人のためにある日ではありません。今日は、自分の権利のために声を上げる、すべての女性たち、すべての少年少女たちのためにある日なのです。

私は声を上げます。声が聞こえてこない『声なき人々』のためにです。それは自分たちの権利のために闘っている人たちのことです。平和に生活する権利、尊厳を持って扱われる権利、均等な機会の権利、そして教育を受ける権利です。

親愛なる少年少女のみなさん、私たちは暗闇のなかにいると、光の大切さに気づきます。私たちは沈黙させられると、声を上げることの大切さに気づきます」

昨年十月、彼女はイスラム過激派の兵士に銃撃され大きな傷を負いました。死の恐怖に直面しながらも、女性と子どもたちの教育を受ける権利のために、訴え続けているのです。さて、私たちの日常生活を改めて考えてみましょう。私たちの周りには、いじめや差別、偏見が少なからずあります。

これらの人権問題に対処していくために、今私たちに必要なことは、子どもたちが安心して暮らせる環境への、積極的な取り組みではないでしょうか。

社会教育指導員
 釘崎 孝博